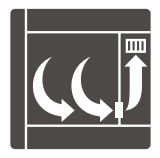


恒温恒湿試験機

# TPCY R-449A 対応

従来のモデルをベースにさらに高性能を追求したリニューアル版。



背面吸い込み式



TPCY-448-40R

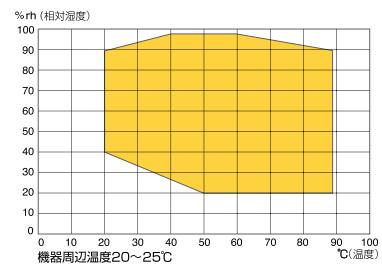
## TPCY シリーズのポイント

**Point 1** - 40°Cから+ 150°Cの広い範囲の試験に対応できます。

TPCY シリーズは現在までスタンダードモデルであった TPCF シリーズをベースに、構造や温度分布を見直した環境試験機のフラッグシップモデルになります。  
過酷な長期間運転や様々な用途に対応できる、ユーザーが理想とする試験環境を生み出すことができる製品です。

**Point 2** 常に使用者の視点を考えた設計。

TPCY シリーズは使いやすさも大幅に向上しています。  
耐久性の高いハンドル、ワークを常に確認出来る観測窓、室内照明、最新のコントローラ、その他にも「ユーザーの視点に立った」多数の設計が施されています。長期間の過酷な試験であっても使用者のストレスが軽減されます。



型式	TPCY-288-20R	TPCY-448-20R	TPCY-800-20R	TPCY-288-40R	TPCY-448-40R	TPCY-800-40R	
内容積/質量(約)	288ℓ/330kg	448ℓ/345kg	800ℓ/535kg	288ℓ/330kg	448ℓ/345kg	800ℓ/585kg	
寸法	内寸法(W×D×Hmm) ※突起部分は含みません。	600×600×800	800×700×800	1000×800×1000	600×600×800	800×700×800	1000×800×1000
	棚板有効寸法(W×Dmm)	570×570	770×670	970×770	570×570	770×670	970×770
	外寸法(W×D×Hmm)	1190×1175×1880	1390×1275×1880	1590×1375×2080	1190×1175×1880	1390×1275×1880	1590×1375×2080
調温湿方式	PID制御方式						
電源	電圧(50/60Hz,変動±10%)	AC200V-3φ					
	最大消費電力	8.5kW	11.0kW	12.3kW	8.5kW	11.0kW	12.3kW
	最大電流	25A	32A	36A	25A	32A	36A
使用周囲温度範囲	5~35℃(※性能保証周囲温度23℃±3℃)						
性能	温湿度範囲	-20~150℃/20~98%rh			-40~150℃/20~98%rh		
	温湿度変動幅	±2.5%rh(但し±0.5℃ at100.1~150℃)					
	温湿度分布	±0.3℃/±2.0%rh(但し±0.75℃ at 100.1~150℃)					
	温度上昇時間(at 23℃)	-20→150℃ 約80分以内			-40→150℃ 約80分以内		
	温度下降時間(at 23℃)	20→-20℃ 約80分以内			20→-40℃ 約80分以内		
冷凍システム	冷凍方式/冷凍機	機械式単段圧縮冷凍方式(-70℃タイプは2元式)/空冷全密封ロータリー式冷凍機					
	冷凍機電気容量	1.1kW	1.5kW	1.1kW	1.5kW	2.2kW	
	膨張機構/冷却機	定圧式膨張弁+自動膨張弁/多段式プレートフィンコイル					
加熱器	ヒータ	Nigr線ストリップヒータ					
	電気容量	3.6kW	4.5kW	3.6kW	4.5kW		
加湿器	ヒータ	シーズヒータ(プラグ型)					
	電気容量	2.6kW	3.5kW	4.0kW	2.6kW	3.5kW	4.0kW
槽内攪拌用送風機	シロココファン×2						
給水方式/タンク/水質	自給式ポンプ/20ℓタンク/純水10μS/cm以下						
外装材/内槽材/断熱材	電気亜鉛メッキ鋼板焼き付け塗装仕上げ/ステンレス(SUS443J1)/ロックウール、グラスウール、発泡プラスチック断熱材						
棚板	等分質量15kg ステンレス鋼板(SUS443J1) 1枚付属						
棚段	フリーセット20段	フリーセット26段	フリーセット20段	フリーセット26段			
ケーブル孔/標準装備	側面1ヶ所 内径50φ/給水タンク、観測窓(288/W220×H250、448・800/W300×H400)電源コード(3m)、キャスタ、アジャスタ						

※扉の開閉は常温で行ってください。  
※高温多湿条件での長期連続運転についてはご相談ください。  
※+40℃以下の連続運転は、着霜の為運転時間に制限があります。  
※JTM K 01に基づきます。

※オプション装着時は、温度分布が異なる場合があります。  
※無試料時の場合。  
※上記仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

**注意** ・この装置においては、温湿度試験を目的とされたものです。 ・槽内に多量な水分を含むものは入れないでください。(但し滴程度の極少量の水分なら可能です)。  
・製品や部品の保証はいたしますが、検査内容の保証はいたしませんので必要な場合はご一報ください。 ・有機溶剤や有機ガス類は使用しないでください。

JTM K 01 は 2012 年より JTM K 07 (温度試験槽 性能試験方法及び性能表示方法) または、JTM K 09 (温湿度試験槽 性能試験方法及び性能表示方法) に変更となりました。